

市政を聞く 一般質問

9月定例会の一般質問は、13日、14日の両日行われ、12名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

一般質問発言通告一覧表

(平成16年第5回9月小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
池尾 正彦	1.村上市長2期目の抱負・決意について 2.小浜市総合福祉センターの施設管理について 3.ADHD(注意欠陥多動性障害児)の対応は
西本 正俊	1.村上市政二期目の方針について 2.小浜市の防災対策について 3.市町村合併について
清水 正信	1.2期目の村上市政を問う
藤田 善平	1.小浜市農業の課題 2.市町村合併について 3.教育環境について 4.土砂災害について
三木 尚	1.原子力政策について 2.教育問題について 3.若者の就業場所の確保について
上野 精一	1.市税の収納について問う 2.有害獣対策について問う 3.特定失踪者の真相究明について問う
風呂 繁昭	1.中長期財政計画 2.教育施設とそれに関わる通学区域 3.小浜新世紀いきいきまちづくりを生かして 4.小浜市環境基本計画
垣本 正直	1.市長の目指す小浜市の将来像について 2.地区振興計画について
山本 益弘	1.水害対策について 2.広葉樹の立枯れ対策について 3.身の丈財政といきいきまちづくりについて
下中 雅之	1.危機管理と災害対策について 2.病児デイケアと小児療養施設について 3.誇りの持てるまちづくりについて市長に問う
宮崎 治宇蔵	1.美浜原発事故について 2.介護保険について 3.7.18福井豪雨災害について
池田 英之	1.市長、2期目の抱負について 2.豪雨災害対策について 3.世界遺産暫定リストへの登載について



池尾 正彦 議員

問① 小浜市は「食のまちづくり条例」を制定したが、趣旨、意図等の理解面で職員間に温度差があるように思う。市民への説明不足の感があり、浸透させる努力が必要。

答 市長の考えが職員にストレートに伝わり、創意工夫をしてもらえると思っていたが、そうではな

かった。今後は職員への研修等を重ねていき是非浸透させたい。
問② 市民への「出前講座」とは、どのようなものか。

答 小浜市が執行する政策等を、市民に理解してもらったり、意見を広く聴くという考えから、幹部職員が市が提示した「メニュー」に応じて要請を受けた市民のもとへ出向き話し合う時間を持つ。



西本 正俊 議員

問③ 小浜市総合福祉センターの屋根全体に雨どいが設置されていないので、利用者に雨が飛び掛り難儀している。

答 今年度中の早い時期に設置する。

問① 二期目の市政運営に於いて、あたつてのキャッチフレーズ、主施策、市民との

共同歩調について。

答 「活気と賑わいのあたる顔の見えるまち」を実現のため、行政の説明責任を果たし、市民の理解と協力を得ながら八項目の施策を進めていく。

答 市民の生命・身体・財産を守るべく防災対策に取り組んでいるが、本年度発生した福井水害をみて

問② 風水害に対する小浜市の防災の現状と課題として今後の計画について。

答 国では、新たな特例法を定め、更なる市町村合併の推進を図るとしており、本市は、引き続き合併を目指していくことには変わりはない。

問③ 第一段階の大詰めを迎えた市町村合併について。

課題も多いので来年度新たに「総合防災課」を設置し万全を期して参りたい。



清水 正信 議員

問① 子育て支援の充実策について。

答 つどいの広場事業、すみずみ子育てサポート事業を実施。また、十七年度市内の小学校就学前全員に医療費二分の一を助成し、十八年以降段階的に医療費の全額助成に向け検討。

問② 琵琶湖・若狭湾快速鉄道について、社会资本の整備は大きく変わってきている。「選択と集中」の中で採算性のないものは不可能だ。百年前の大計は車社会の今日も大計と思うか。

答 沿線住民の百年の悲願は変わりはない。

問③ 北陸新幹線若狭ルートへの取り組み姿勢は。

答 「若狭ルート」堅持の姿勢に何ら変更はない。

問④ 通学区区域審議会への諮問内容は。また、校区の再編、統廃合の全体計

答 適切に対応する。

答 民意を大事にする特別法の趣旨を尊重し適切に対応する。

画は。

答 小浜小隣接地区の校区と遠敷地区の校区のあり方を諮問する。



藤田 善平 議員

問① 小浜市農業の対応を問う。

答 認定農業者を平成十八年末までに三十五経営体にした。旧村単位の地域営農体制を積極的に推進していきたい。小規模農家の方々が意欲的に農業に取り組める環境を作っていく。有害鳥獣対策を進める。

問② 広葉樹の枯損に伴う土砂災害の危険性について問う。

答 被害状況を把握し関係機関と協議し対応する。

問③ 市町村合併について問う。

答 民意を大事にする特別法の趣旨を尊重し適切に対応する。

意見 ここに西ドイツの州政府が発行している家庭向けの避難マニュアルがある。放射能が漏れた際も風向きによりこの道路からこの方向に避難せよと詳細に作っている。立地町と準立地町で

問④ 教育環境について問う。

答 グラウンドの大規模整備は計画に基づき進める。奨学金の無利子貸し付けは毎年六名程度。小浜第二中学校前の土地所有者より依頼人を通して花壇と校門を撤去するよう要請があったが生徒たちの通学や教育活動が十分に安全に行えるよう所有者と協議をしていきたい。

問① 美浜三号機事故によりお亡くなりになられた五名の方々の御冥福と闘病中の皆様のご回復を心よりお祈り申し上げます。小浜市の原子力災害に対する防災体制は十分か。



三木 尚 議員

答 原子力防災マニュアルに沿って対応する。

問① 市税滞納の現状と課税基準の見直し、月払いの採用は。

答 平成十五年度決算時点での滞納は、市民税六、二二四件、固定資産税等四、九九五件、国保税七、三三三件となっており、合計金額六億三、九三五万円である。国保税の今後の課題として、税率のあり方を検討すると共に納期を増やす検討をする。

問② 小浜小学校の移転新築に関し雲浜小との校区再編問題の一案として今富、西津、内外海も含めて学校選択の自由裁量地域としては。

問③ 企業誘致、雇用拡大の質問する。

答 問②、問③いずれも今後、検討していきたい。

問① 嶺南三地区で組織している「嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会」での署名活動や世論に訴える集会の開催等引き続き真相究明に努める。



上野 精一 議員

問② 特定失踪者の真相究明は。

答 嶺南三地区で組織している「嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会」での署名活動や世論に訴える集会の開催等引き続き真相究明に努める。

問③ 有害動物の被害の状況と今後の対策は。

答 猿被害は三十五ヘクタール、一、四二五万円、猪一七七ヘクタール金額三、四一三万円、鹿八二ヘクタール、一、一八万円。人、家への被害の報告はない。今後は県、近隣町村との連携を図り実態調査と駆除に努める。

問① 中長期財政計画、財政健全策雇用の確保について。

答 市税収入の確保、私有財産の有効活用、歳入に見合った適正な歳出予算編成、公債費の抑制と平準



風呂 繁昭 議員

答 市税収入の確保、私有財産の有効活用、歳入に見合った適正な歳出予算編成、公債費の抑制と平準